

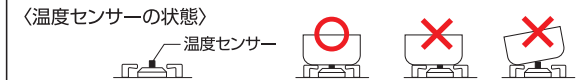
取扱説明書

鍋 兼用鍋:アルマイト

このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、ご家庭での調理用ですが、電磁調理器(IHクッキングヒーター)ではご使用できません。正しく安全にご使用いただくために、この説明書を必ずお読みいただき、必ず保管してください。
また、この製品には、別途、家庭用品品質表示法に基づいた材質・容量等の表示がありますので、あわせてご確認ください。

△注意 Siセンサーコンロ(温度センサー付きガスコンロ)でお使いの際は必ずお守りください

- 転倒によるやけどや火災等の危険がありますので、以下の事項をお守りください。
 - 鍋のサイズに合ったコンロで使用してください。
 - 鍋を空の状態でごコンロに置かないでください。300ml以上の水または300g以上の調理物を入れて置いてください。
 - 鍋はコンロの中央に置いて、温度センサーが確実に沈み込んだことを確認してください。
 - 五徳の形状や調理量によっては転倒することがありますので、なるべく取っ手を持ちながら調理するようにしてください。



△注意 安全のために必ずお守りください

- 取っ手が焦げますので、火力を調節してください。
ご使用時にはコンロの中央に置いて、炎が底面より大きくならないように火力を調節してください。炎が底面よりはみ出したままでご使用になりますと、取っ手が熱くなりやけどのおそれや、取っ手が損傷し、脱落によるやけどなどの事故の原因にもなります。
また、2口以上のコンロをお使いの場合は、隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないよう、取っ手の向きにご注意ください。



- 絶対に空炊きをしないでください。(すべての熱源)
空炊きをしますと、アルマイトが損傷(色落ち、穴アキ、腐食)したり、取っ手やつまみの損傷、本体の変形や溶解等によるやけどや火災の原因になります。
なお、予熱をする場合は、加熱時間を1分以内にしてください。長時間の予熱は空炊きになります。

お使いいただく前に

- 初めてご使用になる前に、製品にぐらつきやひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 製品にシールが貼ってある場合には、△マークシール以外をはがしてからご使用ください。はがしにくい場合は、除光液(マニキュア落とし)または市販のシールはがし液をご利用ください。また、はがした後は、液が残らないようにしてください。
- 初めてご使用になる時は、中性洗剤で内部をよく洗ってください。

- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合には、ご使用前にお買い求めのお店またはアルキューブ株式会社にご相談ください。

使用上ご注意いただきたいこと

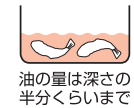
- 調理中はそばを離れないでください。火災の原因になります。
- 調理中、調理後は取っ手やつまみが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 調理物の吹きこぼれによりガスの火を消す場合がありますので、火加減にご注意ください。また、縁まで水等を満たした状態で使用しないでください。
- コンロにのせる時、のせ方や五徳の形状によっては転倒することがありますので、安定した状態でご使用ください。
- ストーブの上では絶対に使用しないでください。ストーブの上で使用されますと、調理物の入った本体の転倒、異常過熱などによるやけどのおそれがあります。また、長時間の連続使用となり、空炊きになりやすく、本体や樹脂部品の損傷の原因となったり、腐食や黒変など製品の品質低下の原因になります。
- 金属製の調理器具ですので、電子レンジでは使用しないでください。
- 取っ手が損傷する原因となりますので、オープンで使用しないでください。
- 〈取っ手がネジ止めの製品の場合〉加熱・冷却の繰り返しにより、ご使用中に取っ手がゆるむことがあります。そのままご使用になりますと取っ手がぐらついて脱落し、やけどなどの事故のおそれがあります。取っ手がゆるんだら、締め直してご使用ください。
- 取っ手やつまみが使用により劣化して、変色やふくれ、ひび割れ、やけどが生じることがあります。脱落によるやけどなどの事故のおそれがありますので、ふくれ、やけど、ひび割れが生じた場合はご使用にならないでください。

- 本体や部品に変形や破損が生じた場合は使用しないでください。
- 天ぷらなどの揚げ物料理については、以下の点にご注意ください。

- 16cm以下の鍋は、油に引火するおそれがありますので、使用しないでください。
- 縁まで油を満した状態での使用は避けてください。油に引火するおそれがあります。(めやすとして、油の量は深さの半分くらいまでにしてください。)
- 油温を200℃以上上昇させないでください。
- 揚げ物調理に際しては、ふたをしないでください。油の温度が異常に高くなり、発火するおそれがあります。
- ふたには蒸気排出用の穴があります。噴出する蒸気でのやけどの危険がありますので、蒸気排出用穴の位置をよくお確かめの上ご使用ください。特に、取っ手の方向に向けられないようご注意ください。
- 取っ手を含む全体を水に浸して丸洗いしないでください。取っ手の中に水がたまり、取っ手内部の止めネジの腐食や、再加熱のときに取っ手が熱くなってやけどなどの事故の原因になります。
- 〈兼用鍋の場合〉お湯を補充する際には、湯気でやけどをしないようご注意ください。
- 〈兼用鍋の場合〉本体に水を多く入れすぎますと、蒸しムラ等の原因になりますのでご注意ください。
- 〈兼用鍋の場合〉強い衝撃を与えないようにしてください。特にはめあわせ部分に変形が生じますと蒸せないことがあります。

長くお使いいただくために

- 金属製の鋭利な調理用具をお使いの際は、内面をキズつけないようご注意ください。キズつけますと、腐食の原因になります。



- 急激な衝撃を与えたり熱した本体に冷水をかける等、急激な温度変化を与えないでください。変形の原因となります。
- 酢等の酸性のものや、アク抜き用重曹等のアルカリ性のもののご使用はなるべく避けてください。使用された場合は、変色や腐食の原因になりますので、調理後速やかに中性洗剤で洗ってください。
- 鍋の中に料理を保存しないでください。

お手入れについて

- お手入れには金属たわし、アルカリ性洗剤(漂白剤、食器洗い機用洗剤など)、クレンザーを使用しないでください。表面をキズつけ、腐食の原因となります。スポンジに中性洗剤をつけてよく洗ってください。洗った後は、腐食防止のためによく乾燥させてください。
- こげついた場合、金属製の固いものでこすらないでください。表面をキズつけ、腐食の原因になります。水やお湯に十分浸して柔らかくした後、中性洗剤を含ませたスポンジでていねいにおとりください。
- 食器洗い機での洗浄はしないでください。ご使用になる洗剤(食器洗い機用洗剤、その他のアルカリ性洗剤)によっては腐食や変色の原因になります。
- 〈兼用鍋の場合〉何度も続けて蒸すときは、その都度、皿を洗ってください。

その他ご注意いただきたい点について

- ご使用中に内面が黒くなる場合がありますが、これは調理の際の加熱によりアルミニウムと水が反応を起こしたものにミネラルなどが付着することにより生じるものです。人体には無害であり、そのままご使用になられてもさしつかえありません。気になる場合は、水の中りにんごの皮や輪切りにしたレモンを入れ煮沸すると落とすことができます。

- ご使用中に内面に白いブツブツができることがあります。これは水道水中の塩素分、ミネラル分、あるいはアルカリイオン製水器の水がアルミニウムと反応してきたものです。腐食のはじまりですが、人体には無害です。そのままご使用になられてもさしつかえありません。無理して取るようなことをしないで、米のとぎ汁を入れて10~15分ほど煮沸してください。腐食が進行しにくくなります。
- 味噌汁を温め直す際には、強火で一気に入れ加熱しないでください。急に吹き出したり、飛び散ることがあります。中身をよくかきまぜてから温めてください。

〈お問い合わせ先〉

アルキューブ株式会社

〒933-0343 富山県高岡市宝来町932
お客様相談室 TEL 0766-31-5400
[受付時間] 午前9:00~午後5:00
月曜~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)